

| | | | | | |
|----------------------|--|---------------|-----------------------|---|----------------|
| 氏 名 (学校名) | 金井菜都実 (大妻女子大学) | 国 (希望する体験) | カンボジア (日本語教育体験) | 企画テーマ | 書道を通して日本文化を伝える |
| 受入れ先 | 光・共立語学スクール | 期間 | 2019年8月14日～2019年8月27日 | 担当者 | 本田みのり |
| 日付 | 体験日誌 | | 日付 | 体験日誌 | |
| 8月14日 | 夕方、シュムリアップ空港に到着しました。本田さんとお会いし空港近くのお店でタゴ飯を食べました。その後、学校の授業も終了していたためゲストハウスに行き就寝しました。 | | 8月19日 | ①10時～11時日本語クラス ②13時～14時日本語クラス ③14時～15時日本語クラス ④16時～17時日本語クラス ⑤17時～18時英語クラス 今日は、①、②、④で日本の小学生と中学生の1日について授業を行いました。先週、カンボジアの子どもは午前か午後に学校に行っているのと知ったので、朝から夕方まで1日中学校にいる日本の小学生と比べて違いと質問を中心に授業を展開しました。生徒たちにとって日本の小学生は1日中、学校にいるのでとても驚いた様子でした。またみんなで同じ料理を食べる給食については興味を示してくれてどのくらいの値段がするのかなどと質問が多かったです。また、14時～15時の大人の日本語クラスではひらがなと数字の学習を含めて小学校、中学校、高校、大学の学年の数え方の授業を行いました。「こうこう」の言い方が難しい様子でしたがとても一生懸命取り組んできました。 | |
| 8月15日 | ①10時～11時日本語クラス ②13時～14時日本語クラス ③14時～15時日本語クラス ④16時～17時日本語クラス ⑤17時～18時英語クラス 7時30分から大人のクラス(1名)を見学させてもらいました。長野県でお仕事をした経験があり日本語がとても上手でした。漢字は2種類の読み方があるので使い分けに苦戦している様子でした。10時から小学生クラス。日本のくじ引きをやってお土産を渡しました。とても喜んでくれて嬉しかったです。その後は教科書の音読を繰り返しました。お昼の時間は本田さんと一緒に食事をしました。13時からの中学生クラスでは、午前中と同じくお土産を渡しました。その後は質問コーナーでコミュニケーションを取ることができました。14時からの大人クラスはお土産を渡したあと、日本語の単語をやりました。たちつととの発音が難しい様子でした。16時からの小学生クラスはスコールが直撃したため中止になりました。室内にいた子供たちと折り紙を使って遊びました。17時からの英語クラスは折り紙で風船と鶴を作りました。みんな夢中で折り紙を楽しんでいた様子でした。 | | 8月20日 | ①10時～11時日本語クラス ②13時～14時日本語クラス ③14時～15時日本語クラス ④16時～17時日本語クラス ⑤17時～18時英語クラス 今日は、①、②、④のクラスで算数の授業を行いました。足し算、引き算、掛け算、割り算を1つずつ声に出しながら計算しました。私が予想していた以上に生徒たちはすらすらと答えていたので、四則計算もやりました。ホワイトボードに書かれた数字を日本語で読みながら答えを計算するといった難しいことに挑戦しましたが、生徒たちは一生懸命に答えてくれました。答えは分かっているのに日本語の数字の言い方が違うときもありましたがあれ？と考える生徒たちはとても可愛らしかったです。最初は私が問題を作成して解いてもらう形式にしていたが後半からは生徒たちで問題を作成してみんなで答えるようにしました。色々な数字を使って難しい問題をみんなに出題したり、四則計算を長くしたり様々な計算を楽しむことができました。③の大人クラスではひらがなを一通り終わったので数字を練習しました。「きゅう」の発音が難しいということが学びました。 | |
| 8月16日 | ①10時～11時日本語クラス ②13時～14時日本語クラス ③14時～15時日本語クラス ④16時～17時日本語クラス ⑤17時～18時英語クラス 10時、13時、14時、16時の全クラスで書道の授業を行いました。最初は緊張しましたが楽しんで取り組んでもらえました。まず書道用具の説明を行い単語を覚えてもらいました。その後、好きな日本語を聞くと「花」「こんにちは」「にほん」と答えが出たのでみんなでその文字を練習しました。練習では直接書くのではなく書き順を確認し空文字で何度も練習しました。その後、半紙に書きました。名前もカタカナで書くように練習しました。書道を形に残るものにならないうちわを持って来ていたので色を選んでもらい清書しました。また折り紙やひらがなシールも用意していたので、好きなようにデコレーションしてもらいました。みんな思い思いの言葉を貼って見て、好んでいる私も楽しめました。最後に記念写真も撮りとってもいい思い出になりました。 | | 8月21日 | ①10時～11時日本語クラス ②13時～14時日本語クラス ③14時～15時日本語クラス ④16時～17時日本語クラス ⑤17時～18時英語クラス 今日は他のボランティア団体から参加してくれた3名の方と一緒に授業を行いました。日本語で自己紹介を行い簡単に質問コーナーをやりました。名前を覚えてもらうために「かじよは誰ですか？」など質問をして答えました。そのあとは人間知恵の輪ゲームと椅子取りゲーム、おしり文字ゲームやトランプゲーム、かるた取りを行いました。コミュニケーションを取りながら日本語を学ぶことで生徒たちと打ち解けることができました。おしり文字ゲームでは、恥ずかしがりながらも一生懸命取り組んでくれました。3人で3文字書きましたが2文字目で答えられまうことがありましたがとても面白かったです。③の大人クラスでは、3名の方と一緒に数字の学習の続きを行いました。 | |
| 8月17日 | カンボジアに来て初めての休日でした。朝4時に起きてアンコールワットへ行きました。天気が不安定でしたがとてもきれいで幻想的な朝焼けを見ることができました。アンコールワットは世界史の教科書で見たことはありましたが想像以上の広さでたくさん歩きました。本物の遺跡を見ることができて多くの歴史を感じる事ができました。同行して下さったガイドさんのおかげでとても良い写真を撮ることができました。アンコールワットを見たあとは西バライのほうに連れて行ってもらいました。貯水池から見た地平線はとても綺麗でした。帰りにアンコールクッキーの本店に行くことができてお土産を購入することができました。とても充実した1日でした。 | | 8月22日 | ①10時～11時日本語クラス ②13時～14時日本語クラス ③14時～15時日本語クラス ④16時～17時日本語クラス ⑤17時～18時英語クラス ①のクラスではジェスチャーゲームを行いました。名詞や動詞を中心に考え出題しました。シネイ先生の助けも頂き、動作で言葉を伝えてそれをどう日本語で発言するのかを考えてもらいました。名詞は簡単に答えることができていましたが動詞になると難しく苦戦している様子でしたが、このゲームをきっかけにして学ぶことができていたと感じました。シネイ先生も全力でゲームを参加してくれて生徒たちも楽しんでいました。ものまねをしている生徒たちはとても可愛らしかったです。他のクラスではボランティアの方と合流しジェンガゲームや日本語の文法を行いました。③の大人のクラスでは、カタカナを始めました。字の形をとるのが難しい様子でした。 | |
| 8月18日 | 午前中はシュムリアップの大きいショッピングモールに行きました。日本食やカンボジア料理まで色々な飲食店が揃っていました。また洋服も売っていたのでショッピングを楽しみました。午後は、本田さんのバイクでツーリングをしました。トンレサップ湖と山に行きました。トンレサップ湖では水上で生活している村の人たちに出会いました。裸足で走り回っている子供たちがとても可愛らしかったです。そのあとは山に登り、シュムリアップを一望できるところで日没を見ることができました。夜はバストリート付近のカフェで食事をし、学校に戻りました。 | | 8月23日 | ①10時～11時日本語クラス ②13時～14時日本語クラス ③14時～15時日本語クラス ④16時～17時日本語クラス ⑤17時～18時英語クラス 今日も引き続き、ボランティアの方たちと一緒に授業を行いました。トランプゲームをしたリジャックを披露してくれたり、楽しめました。また、絵しりとりゲームもやりました。みんなイラストが上手ですぐに答えが分かりました。何を書けばいいの分からないときには、みんなでヒントを出し合って協力しました。わたしもゲームに参加してもと線には自信がないので不安でしたが次の人にきちんと伝えることができました。ボランティアの3名中2名の方が最後の授業でした。あっという間でしたが、一緒に授業ができてとても楽しかったです。今日の夜にプノンペンへ出発する予定になっていたため、荷物の準備を行いました。 | |
| 受入れ先 担当者の コメント | 学生たちが書道にふれるのは初めてのようでしたが、皆さんとても理解がはやく、なおかつ一生懸命に楽しく取り組んでおり、最終的にはそれ素敵な作品に仕上げる事ができた様子でした。みんなであらうに好きな字を書いたことが特に楽しかったですね。子どもたちも大事に使ってくれます。また、休日のアンコールワット観光とツーリングも、暑い中お疲れ様でした。現地ではできない体験がたくさんできたと思います。 | | 受入れ先 担当者の コメント | 今週はボランティアの学生たちが来る日が多かったので、自分の本来企画していた活動があまり多くできなかったと思いますが、同じ学生同士ということもあって協力してクラスを盛り上げることができました。授業以外でもボランティアの学生たちとご飯を食べながらいろいろな話することも何度かあったので、より一層カンボジアでの滞在が楽しいものになったようです。 | |
| 1週間の 感想と 今後の目標 | 自己紹介してくれた時にとても日本語が上手で驚きました。また挨拶や礼儀正しさにも感動しました。日本からのお土産がとても喜んでくれてとても嬉しかったです。このような本格的な授業を行うのは初めてだったので導入の仕方や時間配分などにとても苦戦しました。授業を行っているときに特に感じたことは、自分の知識不足です。もっと事前にどのような授業を行うのかを調べておくことで今よりさらに日本語を教えると同時に日本文化を伝えることができたと思います。この反省点から来週の授業は、事前に展開を考えて取り組もうと思います。また、来週は他の団体の方たちと一緒に授業を行うので大人数だけでなくもの事を考え今週より生徒たちと一緒に楽しみたいと思います。学校以外にもカンボジア観光も楽しむことができました。世界遺産のアンコールワットや街の商店街、カンボジア料理など様々な文化を体験しました。朝早く起きて見ることができたアンコールワットの景色は感動的で今でも忘れられません。週末は学校の先生たちがバストリートを案内してくれて、華やかに遊びました。とても楽しかったです。 | | 1週間の 感想と 今後の目標 | 今週は他のボランティアの方と一緒に授業をする機会が多かったのでグループゲームや様々な学習をすることができました。授業では先週の反省点を生かして事前にどのような展開で進めていくのか考え取り組みました。その中でも、予想以上の板書時間など予定通りに進まないことがありましたが事前に考えることで時間を無駄にすることなく、さらに伝えたいことを全て授業の中で行うことができました。色々なゲームをやるうちに生徒たちの色々な表情が見えて可愛らしかったです。日本語クラス以外にも英語クラスの授業を担当することもあり最初は自信がなかったのですがやるうちに楽しくなり、日本語クラス以外の生徒たちとの交流もできました。折り紙もとても喜んで使ってもらって今週もたくさん作りました。来週はいよいよ最後の授業になります。最後に生徒たちに伝えたいことをまともな想いのこがけないように全力で取り組もうと思います。また、休日にはシュムリアップではなくプノンペンへ観光しに行く予定になっています。プノンペンはカンボジアの首都でもありキングフィールドなど歴史的なものを学べるのでとても楽しみです。カンボジア料理にも慣れてきましたが、1週間ぶりに食べた日本食はとても美味しかったです。 | |

| | | | | | |
|----------------------|--|---------------|-----------------------|-------|----------------|
| 氏 名 (学校名) | 金井菜都実 (大妻女子大学) | 国 (希望する体験) | カンボジア(日本語教育体験) | 企画テーマ | 書道を通して日本文化を伝える |
| 受入れ先 | 光・共立語学スクール | 期間 | 2019年8月14日～2019年8月27日 | 担当者 | 本田みのり |
| 日付 | 体験日誌 | | 日付 | 体験日誌 | |
| 8月24日 | 23日の夜行バスに乗り朝4時頃にプノンベンへ到着しました。初めて寝台バス乗りましたが、予想以上に快適でよく眠ることができました。到着したあとは、ホテルでチェックインをしてキリングフィールドに向かいました。ポルポト政権に関してはあまり詳しく調べていなかったので音声ガイドを利用して学ぶことができました。まだ歴史が浅いこともあり身近に感じ気持ちが痛くなりました。一生忘れてはいけないことでありここで感じたことや学んだことを日本で伝えていかなければならないと思いました。そのあとはプノンベンのショッピングモールに行きました。日本にあるものと雰囲気は似ていました。また、お寺にも行きました。階段を上った先にはプノンベンの街を見渡すことができました。お坊さんもいました。この日は夕食を食べて就寝しました。久しぶりにお湯が出るシャワーを使うことができたので感動しました。 | | | | |
| 8月25日 | 朝食をホテルの屋上で食べました。朝早くからバイクで移動する人たちが見えたり、日本にはない形の屋根の家が見えました。その後、プノンベンで有名な大型ショッピングモールに行きました。ここは日本とは異なり遊園地なども併設されていてお客さんで混んでいました。また日本で馴染みの回転ずしやさんや焼肉やさんなどが揃っていました。日本と同じお店でも価格の安さに驚きました。一周したあとはトウクウクに乗って街を感じながらバス停に向かいました。プノンベンからシュムリアップまでは6時間かかると聞いていたので早めに出発し帰りました。その帰りは、強い雨が降っていましたが欲しかったTシャツを買うことができたので嬉しかったです。明日からの授業に備えて準備をして就寝しました。 | | | | |
| 8月26日 | ①10時～11時日本語クラス ②13時～14時日本語クラス ③14時～15時日本語クラス ④16時～17時日本語クラス ⑤17時～18時英語クラス 今日は私が行う最後の授業だったので日本の歌を練習しました。少しリズムの速い曲を選択してしまっただけで難しい様子でした。歌詞をホワイトボードに書く生徒たちは一生懸命ノートに書き写していました。ひらがなの書き間違えがないかどうか見回すると、どの生徒たちもきれいに日本語を書くことができていて驚きました。さっそく歌の練習に入ると何回も自分のノートを見返しながらかんて熱心に練習している様子が見え、感動しました。最後の授業であることを話すと突然、生徒たちから歌のプレゼントをしてくれてとても嬉しかったです。曲のテンポも速くさらに身振り手振りもついて上手でした。さようならの挨拶をするときは寂しい気持ちもあり感極まりました。 | | | | |
| 8月27日 | ①10時～11時日本語クラス ②13時～14時日本語クラス ③14時～15時日本語クラス いよいよ日本へ帰る日になってしまいました。今日は朝から昨日到着した福田さんと一緒に授業を行いました。また、この日から2名のボランティアの方とも一緒に授業をすることになりました。最初は自己紹介を行いました。そのあとは質問コーナーでコミュニケーションを取りました。また、今回は新しい先生がたくさん来てくれたので〇〇のとなりの〇〇ですと言って自分を紹介する自己紹介ゲームもやりました。名前を覚えてさらにそれを日本語で発言するので少し難しいかなと思いましたが、みんな自分の番が来るまでに小声で一生懸命暗唱していました。午後のクラスでは外でだるまさんがころんだをやりました。日本の遊びが子どもたちにとっても人気と一緒に楽しみました。 | | | | |
| | | | | | |
| 受入れ先 担当者の コメント | 全日程終了お疲れ様でした。他の先生も子供たちも、金井さんとお別れが名残惜しい様子でしたね。中庭で送別会があることは私自身も全く知らなかったもので、始まったときは本当に驚きました。また、24日と25日は金井さんにとっては初めてのプノンベン滞在でしたが、やはり首都というだけあってシェムリアップとは全体の雰囲気が全く違うことに驚かれたと思います。福田さんともバトンタッチがスムーズにできたようで良かったです。 | | 受入れ先 担当者の コメント | | |
| 1週間の 感想と 今後の目標 | あっという間に2週間が過ぎました。たくさんの方と一緒に授業をやることこれやろう！といった色々なアイデアが出てくるのでとても刺激になりました。初めて行ったプノンベンではシェムリアップとは違った雰囲気を楽しむことができました。プノンベンのショッピングモールで食べることができた回転ずしが美味しかったのが印象的です。価格の違いには驚きました。授業では、私がやりたかった一緒に歌を歌う授業ができました。1つの歌に伝えたいことが詰まっていたのでその曲を選曲しましたが、少し難しいものだったのでもう少し簡単に日本を伝えられるものにすればより良い歌の授業ができたのだらうと反省しました。最後の授業が終わるといつも次の授業を待っている生徒さんたちがいる中庭にたくさん集まっています。何かと思ったら私の送別会をしてくださいました。歌を歌ってくれて授業をしたことないクラスの生徒さんみんなからたくさん手紙をもらいました。突然の出来事で驚きましたがとても嬉しかったのと寂しい気持ちでいっぱいになりました。最後にみんなで記念撮影をして終わりました。とても思い出に残る1日になりました。 | | 1週間の 感想と 今後の目標 | | |

総 評

- ◆氏 名： 金井菜都実（大妻女子 大学）
- ◆受け入れ先： 光・共立語学スクール
- ◆企画テーマ： 書道を通して日本文化を伝える
- ◆体験期間： 2019年8月14日 ～ 2019年8月27日

<感想>

私は、初めてカンボジアに行きました。大学の授業内で模擬授業を行うことはありましたが、本物の生徒の前で授業をすることが初めてだったので最初はとても不安でした。今回のテーマである「書道を通して日本文化を伝える」は、1日で授業が終わってしまったのもう少し考えていたらより日本文化を伝えることができたと反省しました。しかし書道を体験したことを思い出して欲しいと思っていたので色のついているうちわを持参し、それにデザインしてもらうことで記念に残ることができたと思います。とめ、はね、はらいを中心に練習し、どの生徒も上手に書くことができていました。生徒それぞれの個性豊かなオリジナルうちわを完成させることができました。そのほかの授業に関しては、クラスによって日本語の習熟度が異なるためそのクラスにあった授業を行うことができました。なにより生徒たちの日本語を勉強したいという熱意が伝わり一緒に授業を楽しんでくれました。ただ1つだけ反省点があります。それは授業を行う上でクメール語が少しでも話せたらよかったことです。それができていればさらに良い授業を行え、生徒たちともっとコミュニケーションを取ることができたと思います。この反省点を生かして次回行く機会があればクメール語を勉強し、より充実した日々を送りたいと思います。この2週間は私にとって人生の分岐点になるような貴重な体験をさせていただきました。不安なこともたくさんありましたが、ひかり学校の先生方や他団体のボランティアの方たちなど多くの人に支えてもらい無事に2週間を過ごすことができました。今回経験させて頂いたことは一生忘れません。最後に、このような素晴らしい機会を与えて下さった共立国際交流奨学財団の皆様、本当にありがとうございました。

<受け入れ先コメント>

受入れ担当者： 本田 みのり 役職： 学校責任者

2週間お疲れ様でした。カンボジアへの渡航は今回が初めてとのことで、食事や体調面などについて、はじめは内心少し心配していましたが、何事もなく過ごすことができたようでまずはホッとしています。

授業についても、金井さんが得意とする書道を始めとしたさまざまな活動を通して、ほかの先生や子供たちと積極的な交流を図ろうとする姿勢が垣間見えました。途中ほかの日本人ボランティアの方々が学校に来る機会が多かったのですが、その人たちとも協力して楽しく活動ができていました。最終日が近くなるころには、もとの先生のサポートを必要とせずとも自分から率先して授業を指導していたので、初日から様子を見ていて正直驚きました。学校の活動以外でも、他の旅行者や在住の日本人の方たちと何度か会う機会を通して、カンボジアがますます好きになったようでした。

またカンボジアで会える日を楽しみにしています。本当にありがとうございました。